

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23086
課題名	離床困難な急性期脳出血患者の肺炎発症要因の検討 ～肺炎発症患者と非発症患者における患者特性と看護ケアの比較～
研究期間	西暦 2023 年 12 月 12 日（実施許可日） ～2025 年 8 月 31 日
研究の対象	2020 年 4 月～2023 年 3 月に旭川赤十字病院で脳出血と診断され、SCU 病棟に入院中に、治療上の制限や重篤な症状のためにベッド上から離れて過ごすことができなかった患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、肺炎発症とその予防に関連した疾患・治療・看護ケアに関する情報） ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐血液 ☐その他（ ） ☐利用予定日（開始日 年 月 日） 旭川医科大学学長及び旭川赤十字病院長の実施許可日から 1 ヶ月程度経過後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	この研究の目的は、脳出血と診断され SCU に入院中の超急性期に、治療上の制限や重篤な症状のためにベッド上から離れて過ごすことができない患者さんが、肺炎を発症してしまう要因を明らかにすることです。この研究により、肺炎を発症した患者さんに共通する身体的な特性や、患者さんに実施している看護ケア状況を見出すことで今後の肺炎発症予防に役立てたいと考えています。
研究の方法	対象者の選定方法 i) 肺炎発症群：SCU入院期間にベッド上から離れて過ごすことができずに肺炎を発症した患者さんを抽出します。 ii) 非肺炎発症群：肺炎発症群の患者さんに共通する特性を持つ肺炎を発症しなかった患者さんから肺炎発症群と同数の患者さんを抽出します。 2. 調査方法：過去の脳卒中患者さんに対する肺炎発症要因および肺炎予防ケアに関する研究の文献を調査し、得られた結果を参考に、対象患者さんの病院診療録から肺炎を発症する要因および、肺炎予防ケアに関する記述を抽出し、分析します。肺炎予防ケアの内容は、多職種協働での口腔ケアの実施状況、看護師が実施する口腔内の観察・アセスメント内容、口腔ケア計画、器質的口腔ケアの実施状況、多職種協働での摂食嚥下に関する実施状況、看護師が実施する摂食嚥下機能療法を計画するプロセス、摂食嚥下直接訓練の実施状況、摂食嚥下間接訓練の実施状況、気道浄化の実施状況、ポジショニングの実施状況、姿勢保持訓練の実施状況、覚醒促進のた

	めの援助状況、視空間や身体認知改善のための援助状況の13項目です。 3. 分析方法：佐藤郁哉の質的データ分析法によるコードマトリックスを用い分析します。 調査により得られたデータを取り扱う際は、特定の個人を識別することができないよう十分に配慮致します。対象者の個人情報対象施設から持ち出しません。研究で得られたデータはパスワードロック付きの USB メモリに保存します。データを保存した USB メモリおよび紙媒体等は鍵のかかる引き出しで厳重に管理致します。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号 旭川赤十字病院 TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648 担当者：SCU 病棟看護師 川原 裕子 担当者は研究責任者を兼任 所属：旭川医科大学 大学院医学系研究科 修士課程高齢者看護学専攻 大学院生